

令和5年度 学校評価に関するアンケート集計結果(保護者用)

福島県立聴覚支援学校

A:十分できている。 B:ほぼできている。 C:あまりできていない。 D:できていない。

[「A+Bが90%以上」、「C+Dが11%以上」に網掛けがしてあります。]

自立と社会参加に向けた指導の充実		A	B	C	D
1	学校は、教育的ニーズや合理的配慮を基に、目標について保護者やお子さんと共通理解を図り、個に応じて自立や社会参加に向けた学習指導を行っている。	53%	40%	6%	0%
2	学校は、中学部・高等部の学科や学習内容、また、高等部卒業後の進路に関する情報を提供し、お子さんの実態に応じて、将来の進路や職業について指導している。	46%	50%	4%	0%
3	学校は、交流及び共同学習を実施している。今年度、幼稚園ではひまわり保育園との交流会、小学部では大槻小学校との交流及び共同学習(クラブ活動)、中学部では片平中学校との交流会や中体連への参加、高等部では地域企業との連携による社会貢献や部活動の大会等の参加による交流活動を行っている。	47%	43%	11%	0%
4	寄宿舎は、自立に向けた生活習慣を身に付けるため、担任や家庭と連携し、お子さんの実態に応じた生活指導を行っている。(中学部:基本的生活スキルの獲得 高等部:自立と社会参加に向けた指導)【寄宿舎生のみ】	67%	24%	10%	0%
主体的に思考する力と豊かな心の育成					
5	学校は、子ども一人一人の言語力を高め、子どもが主体的に思考し、自ら学ぶ力を育むための授業を行っている。	49%	43%	9%	0%
6	学校は、「図書だより」を通して推薦図書を紹介したり、新刊図書や授業と関連のある図書を閲覧できるように校内モニターで紹介したり、図書館や図書コーナーの環境を整えたりするなど、読書活動を推進している。	45%	53%	2%	0%
7	学校は、奉仕体験やボランティア活動、係活動に積極的に取り組み、子ども達の豊かな心を育てている。(幼小小学部では自分のできることから学級や学部のための係活動や児童会活動、中高等部では生徒会活動やボランティア活動を設定している。)	49%	47%	4%	0%
8	学校は、心身の健やかな成長と健康の保持や望ましい食生活について教育活動全般において指導するとともに、感染症予防のための指導を行い、安心安全な環境づくりに努めている。	52%	48%	0%	0%
一人一人の実態を踏まえた言語力の育成					
9	学校は、幼児児童生徒が多様なコミュニケーション手段を活用し、コミュニケーションをとる力が高められるよう研修に取り組んでいる。 ※ことばと学び、補聴器や人工内耳の特性、授業での配慮や手話等、校内の教員同士や外部講師による講演会等を実施しています。	53%	40%	6%	0%
10	学校は、一人一人の障がいの実態に合わせたコミュニケーション手段を用いた教育活動を行っている。また、手話や聴覚活用・読書の専門性を高められるよう研修に努めている。	55%	34%	11%	0%
11	学校は幼児児童生徒一人一人の実態や課題への配慮に基づいて授業を行っている。	49%	43%	9%	0%
安全で安心な学校づくり					
12	学校は、社会のルールやマナーを守り、自ら考えて行動する力を育てるための指導をしている。	53%	38%	9%	0%
13	お子さんは、楽しく学校に通っている。	57%	34%	6%	2%
14	避難訓練や放射線教育など防災教育や交通安全教室を行い、安心安全な学校生活が確保されている。 寄宿舎は、子どもたちの健康の保持と安全の確保を行っている。(梅雨期の衛生・感染症予防等の衛生指導、年4回の避難訓練、防犯指導など)【寄宿舎生のみ】	46%	52%	2%	0%
15	情報モラル講座等を通して幼児児童生徒が安全に生活するために指導するとともに、個人情報の管理を行っている。	51%	47%	2%	0%
センター的機能の充実					
17	学校は、出かける支援や乳幼児早期教育相談等、専門性を活かした支援を行っている。	53%	43%	4%	0%
18	学校は、教員対象の研修会や、保護者対象の学習会を開催し、聴覚障がい理解や支援のための情報を地域に提供している。	49%	47%	4%	0%
19	学校は、校内掲示やホームページで学校の取り組み状況を知らせている。	37%	54%	9%	0%

※小数点以下を四捨五入しているため、すべて足しても100%にならない場合があります。

<学校評価アンケートの結果及びご意見より>

- 普段の生活や自立活動で手話に触れたり学習したりしているので、引き続き教員間でも手話について確認していきます。(幼小)
- 各行事やランチルームの利用時、登下校時等、日常的に声をかけ合う機会があり、同じ敷地に各学部がある利点を今後も生かしていきます。(幼小)
- 小学部では大槻小との交流クラブや交流持久走記録会、交流なわとび大会、12月には小野小学校とのボッチャ体験交流等を小学部では行っています。幼稚園では、ひまわり保育園との交流を年間を通して行ってきました。また、居住地園校との交流を行っている幼児児童もいますので、今後もよりよい交流を進めていきます
- 主に学部行事を中心に、HPのふくろう掲示板へ様子をUPしてきました。今後も日々の学習の様子を掲載していきます。(幼小)
- 寄宿舎と学校の情報共有をさらに密に進めていきます。(中)
- ホームページにかかる手順を簡略化できるように進めています。個人情報に関わる内容なので慎重に進めなくてはいけない部分もあります。ご理解をお願いします。(中)
- 学校に楽しく登校できている意見をいただきました。うれしい限りです。今後とも協力よろしくお願いします(中)
- 改まった場面だけでなく、いつでも・どこでも・だれにでも挨拶や会釈ができるよう、確認していきます。(高)

福島県立聴覚支援学校(小学部)

A:十分できている。 B:ほぼできている。 C:あまりできていない。 D:できていない。

〔「A+Bが90%以上」、「C+Dが11%以上」に網掛けがしてあります。〕

番号	評価項目	A	B	C	D
1	勉強していることが、「わかった」または「おもしろい」と思える。	56%	44%	0%	0%
2	仕事や将来のことを話したり、家の手伝いをしたりしている。	78%	11%	11%	0%
3	小学校との交流やクラブ活動をしている。	56%	33%	11%	0%
4	図書館や図書コーナーを利用している。	100%	0%	0%	0%
5	学級の係の仕事や児童会(集会やお楽しみ会、ごみ拾い、ポスター作りなど)の活動をしている。	100%	0%	0%	0%
6	給食を味わって食べたり、普段から手洗いうがいをしてけがや病気に気を付けたりしている。	78%	22%	0%	0%
7	音声や文字、手話、指文字等を使いながら言葉を覚えて、言葉で考えたり伝えたりしている。	56%	44%	0%	0%
8	補聴器や人工内耳の電池や聞こえの確認をしたり、声や手話等を使って話したりしている。	78%	22%	0%	0%
9	先生や友達、学校に来た人に自分から元気にあいさつしている。	89%	0%	11%	0%
10	学校は勉強や生活がしやすい。	89%	11%	0%	0%
11	事故やけがに気を付けている。	78%	11%	0%	11%
12	タブレットやインターネットを使う時は、先生と一緒に、約束を守って使っている。	89%	0%	11%	0%

＜学校評価の集計結果から＞

○係の仕事や勉強をがんばって生活できています。また、昨年よりも図書室等を利用して本を読む人が増えています。これからもいろいろなことを勉強したり、本を読んだりして自分の好きなことを見つけていきましょう。

○今年から大槻小学校との交流学習が復活しました。分校との交流学習もあります。家の近くの学校で交流学習をしている人もいます。これからも友達と楽しくが学習していきましょう。

○自分からあいさつをしたり、タブレットの使い方等のルールを守ったりすることは、とても大切です。みんなが気持ちよく生活できるように気を付けていきましょう。

福島県立聴覚支援学校(中学部)

A:十分できている。B:ほぼできている。C:あまりできていない。D:できていない。

[「A+Bが90%以上」、「C+Dが11%以上」に網掛けがしてあります。]

番号	評価項目	A	B	C	D
1	授業は、「わかった」または「おもしろい」と思える。	29%	71%	0%	0%
2	中学部卒業後の進路について考え、その実現に向けて努力している。	18%	59%	24%	0%
3	他校と勉強や運動をする機会がある。(交流会、中体連等)	29%	65%	6%	0%
4	図書館や図書コーナーを利用したり、本や雑誌などを読んだりしている。	41%	35%	18%	6%
5	生徒会の活動(委員会、行事、役員会等)に、最後まで責任をもって取り組んでいる。	59%	35%	6%	0%
6	健康診断や学校給食等を通して、自分の心身の健康について考えながら生活している。	41%	47%	12%	0%
7	多様なコミュニケーション手段(音声、文字、手話、指文字等)を活用して考えたり伝えたりしている。	76%	24%	0%	0%
8	学校では、自分に合ったコミュニケーション手段や情報を得る方法を考え、友達とお互いに分かりあえる方法でコミュニケーションを取っている。	65%	35%	0%	0%
9	先生や友達、来校者に自分から元気にあいさつをしている。	41%	53%	6%	0%
10	学校は生活や勉強などがしやすい環境が整っている。	38%	56%	6%	0%
11	安全に気を付け学校生活を送っている。	71%	24%	6%	0%
	寄宿舎では安心して生活している。【寄宿舎生のみ】	78%	22%	0%	0%
12	情報モラルの重要性や危険性を理解し、安全に情報機器の活用を行っている。	59%	41%	0%	0%

＜学校評価の集計結果から＞

○昨年よりも図書室等を利用して本を読む人が増えています。さらに、朝の読書の時間を利用して、たくさんの方に触れ合いました。

○片平中との交流や部活動など生徒会の活動によく取り組んでいます。これからも、たくさんの方と協力して、よりよい学校生活ができるようにしていきます。

○昨年と比べ、卒業後の進路に不安を持っている生徒は少なくなりました。先生や先輩などに相談し、一つ一つ不安を解消していきます。

○様々な工夫をして、友達とコミュニケーションをとり、楽しい学校生活が送れているようです。

福島県立聴覚支援学校(高等部)

A:十分^{じゅうぶん}できている。B:ほぼできている。C:あまりできていない。D:できていない。

[「A+Bが90%以上」、「C+Dが11%以上」に網掛けがしてあります。]

番号	評価項目	A	B	C	D
1	授業は、「わかった」または「おもしろい」と思える。	30%	65%	5%	0%
2	進路実現に向けて目標をもち、それに向けて努力している。	30%	65%	5%	0%
3	他校と勉強や運動をする機会がある。(交流会、高体連等)	15%	50%	20%	15%
4	図書館や図書コーナーを利用したり、本や雑誌などを読んだりしている。	15%	35%	30%	20%
5	生徒会の活動(委員会、行事、役員会等)に、積極的に取り組んでいる。	50%	50%	0%	0%
6	健康診断や学校給食等を通して、自分の心身の健康について考えながら生活している。	30%	50%	20%	0%
7	多様なコミュニケーション手段(音声、文字、手話、指文字等)を活用して思考したり伝えたりしている。	55%	45%	0%	0%
8	学校では、自分に合ったコミュニケーション手段や情報を得る方法を考え、友達とお互いに分かりあえる方法でコミュニケーションを取っている。	55%	40%	5%	0%
9	先生や友達、来校者に自分から元気にあいさつをしている。	40%	50%	10%	0%
10	学校は生活や勉強などがしやすい環境が整っている。	40%	50%	10%	0%
11	安全に気を付け学校生活を送っている。	55%	45%	0%	0%
	寄宿舎では安心して生活している。【寄宿舎生のみ】	33%	67%	0%	0%
12	情報モラルの重要性や危険性を理解し、安全に情報機器の活用を行っている。	65%	35%	0%	0%

<学校評価の集計結果から>

○高体連や障がい者関係の大会等に参加し、同じ高校生が競技に励む姿に力を得ながら成果をあげるとともに、自分自身やチームの課題に気づく機会となりました。今後、生徒会での会合の参加や高等学校との交流が予定されています。職場体験実習をはじめとする対外的活動で身に付けたコミュニケーション力を発揮し、地域の人と共に活動する経験を積み重ねていきましょう。

○進路実現に向けた学業と部活の両立や生徒会の運営等で忙しい高校生活、読書の時間を確保することはなかなか大変です。昇降口の新刊図書案内や階段踊り場の図書コーナーで興味のある本を見つけたときは、朝の時間や昼休み等を利用して読んでみましょう。みなさんが悩んだときや困ったときの解決の糸口となる創造的思考力を育てることができます。

○献立表にはメニューの他に、材料やカロリー等も記載されています。給食を味わいながら、材料の切り方や調理方法の工夫にも目を向けてみましょう。将来の自立に向けてバランスのよい食生活を意識し、健康を維持することを心がけましょう。